

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 三篠川 災害復旧助成事業に係る詳細設計業務（その4）

事業・工事名

調査目的及び調査対象 河川 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.4	調査位置	広島市安佐北区白木町	北緯	34° 34' 17.1700"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 4月30日～ 令和2年 5月 1日	東経	132° 40' 03.8600"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	TP 130.45m	角		地盤勾配	0° 水平 0°
総削孔長	6.00m	度	0°	使用機種	東邦D-0
		方		エンジン	ヤンマーNFD-10型
		向		ポンプ	東邦製BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内試験	削孔月日	
											深度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号					
	129.60	0.85	シルト質砂	シルト質砂	茶				細砂主体で細粒分含む。木根混入する。	5/1 1.35	0	1.15	4	7	11	22	1.15	P-4-1	比重大粒度		
	128.95	1.50	機混じり砂	機混じり砂	茶灰	rd3			細～中砂主体。φ1～3cm程度の礫混じる。GL-0.85～1.0m間、粘性認める。		22	1.43	22	28	40	50	1.43				
	128.16	2.29	玉石混じり砂	玉石混じり砂	茶灰	rd5			φ1～3cmの礫主体。砂は中～粗砂。玉石はL-5cm程度。礫層は主に流紋岩で、花崗岩も含む。		50	2.15	22	28	40	50	2.15	P-4-2	比重大粒度		
				流紋岩	青緑灰				CM級流紋岩。5～10cm間隔で亀裂が入る。岩片は硬質でハンマー軽打により金属音を発する。しばしば方解石脈が入る。GL-5mより亀裂間隔広がる。GL-5.6m付近およびGL-5.85～6.0m間に泥質片岩を捕獲している。		50	3.00	貫入不能	50	0	0	0				4/30
											50	4.00	貫入不能	50	0	0					
											50	5.00	貫入不能	50	0	0					
	124.45	6.00									50	6.00	貫入不能	50	0	0				5/1	